

梅鶯仏教壮年会報

第119号
2014年
9月14日

本年度の「聞法親睦旅行」を中止します

毎年度秋に実施しています恒例の「聞法親睦旅行」は、会員皆様の楽しみの一つであります。ご承知の通り、会長の田中善博氏が農業組合長、親睦旅行を中心的にお世話頂いている田中薫氏が区長と、両氏とも宇賀野の重責を担っておられ、日程等の調整が難しいために、残念ながら本年度は中止とさせて頂きます。

坂田組連研（法輪

寺会場）

十月三日（金）

午後一時半より

本年度坂田組の第4回連研

あれごらん
親に抱かれて
寝る赤児
落ちる落ちぬの
心配はなし

稲垣瑞剣

ちよつと面白いお話し
赤ちゃんの「万能感」



最近、ある雑誌を
読んで面白いことを
知りました。私達が
「おぎやう」と生ま
れてきたときは、
「万能感」というも
のを持って生まれて
くるんだそうです。
この万能感というの
は心理学の
言葉だそうで、その
意味は「何も
かも自分の思い通り
になる」と信じ
る感覚」だそうです。
それは自分の体や手
足だけでは
なく、お母さんの乳
やおやむくこと
も、おむつを替え、
あやしてやら
うことも、みんな自
分の意志でし
ていえると思ひ込
んでいられるだ
です。

つまりお母さんや、
自分の世話を
してくれていて人
みんなを、自分
の一部だと思ひ込
んでいて、あらゆ
るものを自分の意
志でコントロール
しているのだそう
です。そして、生
きているのが成長
するにつれ、自分
と他人との区別が
つき始め、だんだ
ん自分の思い通り
にいかないことが
増えていくのださ
うです。

そして、次第に苦
悩する私を、その
まま抱きとって
振り向けて下さ
り、親鸞聖人が
そのことをあき
らかにして下さ
います。それを考
え、私たちが人
生の本質を知り、
阿弥陀さんの呼
び声を聞かせて
もらうために、赤
ん坊の時に「万
能感」を持って
生まれてくるよ
うに思えるので
すが、・・・。

逆に「この世は
思い通りにな
らない」とい
う感覚を身に
つけていたなら、
案外それほどの
人生苦を感じな
いので済むかも
知れません。

それが全く正反
対の感覚を持
つて生まれてき
ているのではない
でしょうか。

お釈迦様はその
苦悩を「四苦八
苦」としてお示
しになり、その
悩める私を、そ
のまま抱きと
ってくださる南
無阿弥陀仏の
み教えをその
ことをあきら
かにして下さ
います。

住職

